

倫理 研究課題 <源流03>

教科書：p ~ 資料集：p ~ ノートp ~

●プラトン

古代ギリシアの3大哲人の2人目。ソクラテスの弟子。ソクラテスを主人公とする「対話篇」を多数執筆した。のちにアカデメイア（学園）を設立し、アリストテレスらを育てた。

①イデア論

この世は現象界とイデア界から成る（二元論）

イデア＝現象界の個々の事物を超えて、イデア界に実在する完全な性質をもつ理想的原型。

＝事物の本質（≡定義）。イデアのイデア＝善のイデア

人間（現象界に生きる）はイデアの影を見ているだけ → 洞窟の比喩

∴その洞窟の外にある真実に気づくこと＝ソクラテスのいう「無知の知」

人間の魂は、イデア界から来て現象界の肉体に宿ったもの。

∴イデア界を想起し（アナムネーシス）、真善美を思慕する（エロース）

②道徳論・政治論



∴統治者は哲学者であるべき＝哲人政治論（←ソクラテス裁判に対する批判）

★アナムネーシスとエロースは、現実生活の中のどういうことに相当するのだろうか？

.....

.....

.....

★現代社会における統治者とは誰か？ その統治者は哲学者たりえているか？

.....

.....

.....